

普及活動情勢報告（令和6年12月分）

高吾農業改良普及所

農福連携のマッチングを推進！～越知町農福連携体験研修報告会～



研修報告会の様子

11月20日、普及所が関係機関に提案して令和6年度に設立された越知町農福連携支援会議が農福連携体験研修報告会を開催し、越知町の農業と福祉の担当部署、関係組織等が参集しました。普及所は5月に行われたサンショウの青実収穫及び出荷調製作業、9月に行われた刻みサンショウの出荷調製作業の研修会の詳細を報告し、その後に業務のマッチングに向けた課題を協議しました。

この中で、新たに参加した事業所と作業の業務委託を締結した生産者も出るなど、新たな動きも始まりました。

普及所は、今後も農福連携体験研修などを通じて農業者と福祉事業者の間の相互理解と業務のマッチングを進めていきます。

収量品質向上へ向けた新たな品種への取組 ～オクラ出荷反省会～



出荷反省会の様子

12月19日、JA高知県日高オクラ生産部会の出荷反省会がJA高知県日高支所で開催され、生産者7名が出席しました。

今年度、普及所では当部会の課題であったイボ果等の生理障害果の発生を減少させるため、生理障害果の発生が少ない品種

「ジュピター」の品種比較試験を行っており、試験結果について生産者に報告しました。農家からは「慣行品種に比べて、ジュピターは生理障害果の発生が少なく、収量も多かった。来年度も栽培していきたい。」といった声が聞かれました。

今後も普及所は、現地試験や日々の巡回を通して、生産者の収量品質向上に向けて支援していきます。

地区座談会で有望品目を紹介 ～日高村地域計画地区座談会～



地区座談会の様子

11月13日から日高村の5地区で、本年度2回目の地域計画策定に係る地区座談会が開催され、普及所も全地区の座談会に参加しました。

役場がアンケート結果を元に作成した目標地図の案を見ながら耕作者の現状や今後の意向などを確認するとともに、地区の農地維持などについて意見交換が行われました。

参加者からは農地維持や活用への支援を求める意見が出され、普及所からは有望品目として条件不利地でも栽培可能で収益性も期待できるサンショウのほか、ユズ、オクラの投げかけを行い、参加者も関心をもちました。

普及所は今後も地域計画の情報をもとに、有望品目の導入や担い手確保に対する支援を実施していきます。